

大学・高専機能強化支援事業（支援1：学部再編等による特定成長分野への転換等に係る支援）
実施状況報告書

選定年度	令和6年度	学校コード	F113310103901	設置等組織名	デジタルエンターテインメント学部（デジタルエンジニアリング学科、デジタルアート学科、デジタルプロダクト学科）
大学名	東京工科大学	設置区分	私立	事業計画名	東京工科大学デジタルエンターテインメント学部設置事業
学校種	大学	都道府県	東京		

1. フェーズ別の計画及び取組状況

フェーズ別の事業計画と取組状況、年度別の自己評価を記載してください。

当初計画から変更又は追加した取組がある場合は「取組状況」に取組を赤字で記載してください。また、計画変更申請をした場合は「取組状況」に承認日を赤字で記載してください。

計画の進捗の遅れや実施困難な事項がある等、自己評価が下位2つの場合には、課題（理由）とその対応を記載してください。計画通りに実施できており、その他課題がない場合に限り記載は不要です。

事業期間	事業計画	取組状況	自己評価、課題（理由）とその対応	
フェーズ1	1-① 令和6年7月～ 施設及び設備計画のための他大学等視察 1-② 令和6年9月～ 構想に対する意見聴取のためのアドバイザーボード導入 1-③ 令和6年9月～ 新学部設置申請に向けた調査及び書類等作成 1-④ 令和7年4月～ 社会におけるニーズを確認するための調査 1-⑤ 令和7年4月～ 教育課程等カリキュラムの具体的な検討 1-⑥ 令和7年4月～ 教員候補者を確保するための調査 1-⑦ 令和7年10月～ 教員採用に向けた面談及び面接の実施 1-⑧ 令和8年4月～ 着任予定教員との事前協議など 1-⑨ 令和8年4月～ 設置計画の周知及び学生募集のための広報活動実施	1-① 令和6年7月～ 施設及び設備計画のための他大学等視察 1-② 令和6年9月～ 構想に対する意見聴取のためのアドバイザーボード導入 1-③ 令和6年9月～ 新学部設置申請に向けた調査及び書類等作成 1-④ 令和8年4月～ 社会におけるニーズを確認するための調査（R7.2.28承認） 1-⑤ 令和7年4月～ 教育課程等カリキュラムの具体的な検討 1-⑥ 令和7年4月～ 教員候補者を確保するための調査 1-⑦ 令和7年10月～ 教員採用に向けた面談及び面接の実施 1-⑧ 令和8年4月～ 着任予定教員との事前協議など 1-⑨ 令和8年4月～ 設置計画の周知及び学生募集のための広報活動実施 ・令和7年度に予定していたニーズ調査について、具体的に進路を検討する高校2年生を対象に調査を実施することで、より正確なニーズを把握できると考えたため、令和8年度の実施に変更した。（R7.2.28承認） ・令和7年度及び令和8年度のアドバイザーボード謝金について、外部有識者として協力を依頼していた方が令和7年度から着任することとなり、その方への謝金が不要となることから、この分を他大学等視察の経費として活用することとした。また、アドバイザーボードの設置にあたり、中心となる教員と協議を行った結果、依頼者の人数と謝金準備及び開催スケジュールが変更となったため、申請額を変更した。（R7.2.28承認） ・令和6年度に予定していた他大学等視察について、より充実した効果的な視察となることが見込まれるため、上記教員が着任する令和7年度に変更した。また、当初は国内大学等への視察を予定していたが、海外（特に欧米）ではエンターテインメント分野において先駆的で実践的な取組みがされている大学があるため、カリキュラム及び設備等の両面から海外大学への視察は重要な意味があり不可欠であるとの判断から、経費を変更した。（R7.2.28承認）	R6年度自己評価	【3】計画を十分に実施している。
	2-① 令和7年6月～ デジタルエンターテインメント学部設置のための新校舎建設		○年度自己評価	リストから選択してください。
認可申請又は届出	令和9年3月 収容定員の総数の増加 認可申請予定 令和9年6月 デジタルエンターテインメント学部デジタルエンジニアリング学科、デジタルアート学科、デジタルプロダクト学科 学部・学科の設置届出予定			
フェーズ1後継し	1-⑧ 令和8年から継続 着任予定教員との事前協議など 1-⑨ 令和8年から継続 設置計画の周知及び学生募集のための広報活動実施		○年度自己評価	リストから選択してください。
	2-① 令和7年から継続 デジタルエンターテインメント学部設置のための新校舎建設		○年度自己評価	リストから選択してください。
開設又は定員増	令和10年4月 デジタルエンターテインメント学部デジタルエンジニアリング学科、デジタルアート学科、デジタルプロダクト学科開設予定（入学定員150名、工学関係）、収容定員増		○年度自己評価	リストから選択してください。
フェーズ2後継し			○年度自己評価	リストから選択してください。
	3-① 令和10年4月～ 学生募集及び入学者に関する調査と分析 3-② 令和10年4月～ 開設後の自己点検・評価と対応策検討 3-③ 令和10年4月～ 継続した志願者確保のための広報活動実施 3-④ 令和11年4月～ 就職先企業の調査・分析及び開拓		○年度自己評価	リストから選択してください。
フェーズ3			○年度自己評価	リストから選択してください。
			○年度自己評価	リストから選択してください。
定員減又は学部等の廃止				

フォローアップ対象年度	令和6年度	大学名	東京工科大学
-------------	-------	-----	--------

2.申請資格の確認

該当しない場合は、チェックしてください。

- i) 学生募集停止中の大学

該当無し	<input checked="" type="checkbox"/> チェック
------	--
- ii) 学校教育法第109条の規定に基づき文部科学大臣の認証を受けた者による直近の評価の結果、「不適合」の判定を受けている大学

該当無し	<input checked="" type="checkbox"/> チェック
------	--
- iii) 「私立大学等経常費補助金」において、定員の充足状況に係る基準以外の事由により、前年度に不交付又は減額の措置を受けた大学

該当無し	<input checked="" type="checkbox"/> チェック
------	--
- iv) 設置計画履行状況等調査において、「指摘事項（法令違反）」が付されている大学

該当無し	<input checked="" type="checkbox"/> チェック
------	--
- v) 大学、短期大学及び高等専門学校を設置等に係る認可の基準（平成15年文部科学省告示第45号）第2条第1号又は第2号のいずれかに該当する者が設置する大学

該当無し	<input checked="" type="checkbox"/> チェック
------	--

3.申請要件の取組状況

令和6年度 の取組が当初の計画通りに進んでいる、又はチェック項目に該当する場合はチェックしてください。計画通りに進んでいない、又はチェック項目に該当しない場合は右欄に課題（理由）とその対応を記載してください。

①	高等教育の修学支援新制度において、大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第8号）に基づき、財務状況や収容定員充足率が適正であることを含めた要件を満たすことの確認を受けた大学であること。なお、新設予定の大学で、応募時点において、高等教育の修学支援新制度における要件確認の対象に該当しないものは、本要件は適用されない。					
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; padding: 2px;">確認を受けている</td> <td style="width: 50%; text-align: center; padding: 2px;"><input checked="" type="checkbox"/> チェック</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">確認の対象に該当しない</td> <td style="text-align: center; padding: 2px;"><input type="checkbox"/> チェック</td> </tr> </table>		確認を受けている	<input checked="" type="checkbox"/> チェック	確認の対象に該当しない	<input type="checkbox"/> チェック	
確認を受けている	<input checked="" type="checkbox"/> チェック					
確認の対象に該当しない	<input type="checkbox"/> チェック					
②	十分な学生確保の見通しを備えた計画となっていること。					
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; padding: 2px;">計画通りに進んでいる</td> <td style="width: 50%; text-align: center; padding: 2px;"><input checked="" type="checkbox"/> チェック</td> </tr> </table>		計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> チェック			
計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> チェック					
③	産業界を含む社会のニーズ等を踏まえ、学修目標の具体化、体系的な教育カリキュラムの編成及び大学での学修に必要な資質・能力等を評価する入学者選抜が適切に実施され、そのための体制を構築する計画となっていること。（その際、国際的な質保証の枠組みを活用するなど出口における質保証にも十分留意することが重要。）					
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; padding: 2px;">計画通りに進んでいる</td> <td style="width: 50%; text-align: center; padding: 2px;"><input checked="" type="checkbox"/> チェック</td> </tr> </table>		計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> チェック			
計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> チェック					
④	特定成長分野の人材を育成するための戦略、適切な管理・教育体制や教育研究環境の整備を図る計画となっていること。					
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; padding: 2px;">計画通りに進んでいる</td> <td style="width: 50%; text-align: center; padding: 2px;"><input checked="" type="checkbox"/> チェック</td> </tr> </table>		計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> チェック			
計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> チェック					
⑤	計画の対象となる学部等において、実務経験のある教員等による授業科目を配置する計画となっていること。					
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; padding: 2px;">計画通りに進んでいる</td> <td style="width: 50%; text-align: center; padding: 2px;"><input checked="" type="checkbox"/> チェック</td> </tr> </table>		計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> チェック			
計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> チェック					
⑥	特定成長分野に係る学部の設置等（学部若しくは学科の設置又は収容定員の増加）による組織の変更を伴う学部再編等の計画であること。					
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; padding: 2px;">計画通りに進んでいる</td> <td style="width: 50%; text-align: center; padding: 2px;"><input checked="" type="checkbox"/> チェック</td> </tr> </table>		計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> チェック			
計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> チェック					
⑦	社会において具体的な人材ニーズが現に存在する、又は、その十分な見通しのある分野に係る学部等の設置等に取り組む計画であること。					
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; padding: 2px;">計画通りに進んでいる</td> <td style="width: 50%; text-align: center; padding: 2px;"><input checked="" type="checkbox"/> チェック</td> </tr> </table>		計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> チェック			
計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> チェック					
⑦	学部又は学科の設置を行う場合、地域における特定成長分野の人材を必要としている複数の企業等と設置構想に関する事前協議を行う計画であること。					
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; padding: 2px;">計画通りに進んでいる</td> <td style="width: 50%; text-align: center; padding: 2px;"><input checked="" type="checkbox"/> チェック</td> </tr> </table>		計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> チェック			
計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> チェック					
⑧	入学定員が20名以上増加する計画であること。					
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; padding: 2px;">計画通りに進んでいる</td> <td style="width: 50%; text-align: center; padding: 2px;"><input checked="" type="checkbox"/> チェック</td> </tr> </table>		計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> チェック			
計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> チェック					
⑨	事業計画の選定があった日から4年を経過する日を含む年度の末日までに、計画の対象となる学部等の設置等を行うことを目指す計画であること。（本事業の申請時に既に設置認可申請又は届出を行っている場合を除く。）					
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; padding: 2px;">計画通りに進んでいる、又は設置等を行った</td> <td style="width: 50%; text-align: center; padding: 2px;"><input checked="" type="checkbox"/> チェック</td> </tr> </table>		計画通りに進んでいる、又は設置等を行った	<input checked="" type="checkbox"/> チェック			
計画通りに進んでいる、又は設置等を行った	<input checked="" type="checkbox"/> チェック					
⑩	大学の総収容定員充足率（在籍学生数の収容定員に対する割合）について、計画の対象となる学部等の設置等に係る設置認可申請又は届出までに80%を満たす計画であること。					
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; padding: 2px;">計画通りに進んでいる</td> <td style="width: 50%; text-align: center; padding: 2px;"><input checked="" type="checkbox"/> チェック</td> </tr> </table>		計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> チェック			
計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> チェック					
⑪	フェーズ3の助成期間終了時まで、大学全体の外部資金獲得額を申請時点の平均（過去5年間の中央値3年分の平均）に本事業による支援額の2.5%を上乗せした水準以上とする計画であること。					
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; padding: 2px;">計画通りに進んでいる</td> <td style="width: 50%; text-align: center; padding: 2px;"><input checked="" type="checkbox"/> チェック</td> </tr> </table>		計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> チェック			
計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> チェック					
⑫	計画の対象となる学部又は学科において、自大学以外の機関との連携を通じた教育体制の整備と教育の実施及び多様な入学者の確保に向けた取組を行う計画であること。					
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; padding: 2px;">計画通りに進んでいる</td> <td style="width: 50%; text-align: center; padding: 2px;"><input checked="" type="checkbox"/> チェック</td> </tr> </table>		計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> チェック			
計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> チェック					
⑬	選定された大学は、公募要領に定める申請要件を満たす質の高い教育等に向けた計画の具体化に努めるとともに、その進捗報告を行うこと。また、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構法第十六条の三に規定する助成業務の実施に関する方針（令和5年4月13日文部科学大臣認可）六（2）②に基づき機構が実施する会議に参加すること。					
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; padding: 2px;">計画の具体化に努め進捗報告を行い、会議に参加した</td> <td style="width: 50%; text-align: center; padding: 2px;"><input checked="" type="checkbox"/> チェック</td> </tr> </table>		計画の具体化に努め進捗報告を行い、会議に参加した	<input checked="" type="checkbox"/> チェック			
計画の具体化に努め進捗報告を行い、会議に参加した	<input checked="" type="checkbox"/> チェック					
⑭	文部科学大臣から国際卓越研究大学として認定を受け、支援を受けている大学でないこと。					
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; padding: 2px;">認定を受けておらず申請する意向もない</td> <td style="width: 50%; text-align: center; padding: 2px;"><input checked="" type="checkbox"/> チェック</td> </tr> </table>		認定を受けておらず申請する意向もない	<input checked="" type="checkbox"/> チェック			
認定を受けておらず申請する意向もない	<input checked="" type="checkbox"/> チェック					

フォローアップ対象年度	令和6年度	大学名	東京工科大学
-------------	-------	-----	--------

4. 審査要項における確認項目の計画及び取組状況

令和6年度 の取組実績を記載し、申請時に選択した項目にチェックを入れた計画を記載してください。取組実績は会社名や大学名、定量的なデータ等を示し具体的に記載してください。検討中であっても状況を記載してください。計画の進捗の遅れや実施困難な事項がある場合には、課題（理由）とその対応を記載してください。計画通りに実施できており、その他課題がない場合に限り記載は不要です。

【A：連携を通じた教育体制の整備と実施】（連携開設科目等に限らない）

- チェック a. 企業や自治体と連携した科目（PBL等）の整備・実施
- チェック b. 関連分野に強みを持つ地域の他大学と連携した科目の整備・実施
- チェック c. 関連分野に強みを持つ海外大学との連携（連携した科目や交換留学プログラムの整備・実施等）

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
<p>a) (一社) コンサートプロモーターズ協会の協力の下に新たな講義を立ち上げ、国内外の企業からの講師による講義を行う。エンターテインメント業界における成功の秘訣や今後の展望、働くためのポイント、社会人に求められる要素、知識など、業界のトップランナーから実体験に基づいた話を聞くことのできる講義を計画している。既存のメディア学部でも同様の講義が行われているが、新学部では「デジタル技術」という観点を取り入れ、デジタルエンターテインメントに重点を置いた内容にする予定である。また、新学部設置予定の蒲田キャンパスのある大田区とも連携し、「町工場を対象とした、エンターテインメントによる地域活性化」というような、課題解決に関するプロジェクト演習を実施する計画である。エンターテインメント産業に携わる人材が必要としているデジタル技術や科学技術についても、実務経験をもつ教員による指導が受けられる体制を整える。</p> <p>c) エンターテインメントテクノロジーに特化した研究施設をもつ米国カーネギーメロン大学を中心に、学生の交流プログラムを整備する予定である。東京工科大学の併設校である日本工学院専門学校のエンターテインメント分野が欧米にもつ関係性を活用し、海外大学との連携プログラムは助成期間内外を問わず拡充する予定である。</p>	<p>企業や自治体と連携した科目（PBL等）の整備・導入については、アドバイザーボードへエンターテインメント産業に精通した実務者2名に参加いただき、令和7年度以降にカリキュラムなどの具体的な内容とあわせて検討を行う。本学メディア学部における導入実績を確認しながら、新学部での有効な導入計画を策定する。</p> <p>海外大学との連携については、当初予定していた他大学等視察を令和6年度から令和7年度に計画変更（支学機構助第90号）したため、令和7年度に検討を開始する。エンターテインメント分野において先駆的で実践的な取組みがされている大学を視察するとともに、新学部開設後の連携に向けた協議を行う。</p>	

【B：多様な入学者の確保に向けた取組】

- チェック a. 入学者選抜における科目の見直し
- チェック b. 女子学生の確保（志願者数増）に向けた取組
- チェック c. 地域の初等中等教育段階の学校との連携（出張授業の実施等）
- チェック d. 社会人学生の受入れ強化に向けた取組（リカレント・リスティングへの対応）
- チェック e. 留学生の受入れ強化に向けた取組

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
<p>a) 総合型選抜、学校推薦型選抜などの他に、デジタルエンターテインメント学部の学修内容に適合している人材であるかを見極めるための特別選考を行う。一例として、エンターテインメントに関する講義を受講し、レポートを作成するという選考方法を予定している。連携企業からの聞き取り調査に基づき、エンターテインメント業界で必要とされている資質をもった受験生を選抜する方法を検討する。また、学科試験を実施する場合は、文系・理系・文理融合系の各学科内容に沿った科目設定とする。</p> <p>b) 文系科目履修者も入学者の対象とすることから、女子学生の増加が十分に見込まれる。新学部の校舎を建設する際には、女子学生の増加も考慮した設備とする。また、高校での履修選択により、受験生が将来を志す分野の候補から「デジタル」が外れることにならないように、高校1年生などの文理選択前の段階で新学部を知ってもらうような広報活動に努める。この時期についても、高校への聞き取り調査から検討する。</p> <p>c) 東京工科大学の広報部には、すでに高校への出張講義システムが存在している。令和5年度は高校生向けに39種類の講義メニューを用意し、高校からの要望に応じてカスタマイズした出張講義を71件行った。私立などの中高一貫校においては、中学生も対象に行っている。新学部からも、この活動に参加する予定である。</p> <p>e) 令和6年2月現在、本学は、アジア地域を中心に49の国外大学と協定関係にある。これらの大学の学生に対して、日本のエンターテインメント文化は魅力的なものと考えられる。本学全体におけるアジア地域からの留学生は約180名であるが、コロナ禍以前には年間220名以上が在籍していた。欧米からは、研究生の受入れが年々増加し、現在は20名近い研究生が在籍している。本学は現在、留学生受入れを含む国際交流強化に取り組んでいる。既存学部同様、新学部でも将来的に留学生を受入れる予定である。</p>	<p>令和6年度は、デジタルエンターテインメント学部で養成する人材像の検討を中心に、学部内での専門領域のあり方、カリキュラム構成などについて議論を行い、現時点での案として3つのポリシー（アドミッションポリシー、カリキュラムポリシー、ディプロマポリシー）を策定した。</p> <p>入学者選抜における科目については、多様な資質をもつ志願者に対して適切な選抜を行うため、本学がこれまで行ってきた選考方法や科目にとらわれない方法で実施すべく検討を行っている。</p> <p>女子学生の確保及び地域の初等中等教育段階の学校との連携並びに留学生の受入れ強化に向けた取組については、令和6年度は新学部の基本方針についての議論を集中して行ったため、令和7年度以降に具体的な検討を行う予定である。</p>	

大学名	東京工科大学
-----	--------

3.大学（学士課程）の状況

年度				R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度	R24年度	
大区分	小区分	項目	単位																				
学生の入学・在籍状況	春季入学	入学定員	人	1,720	1,720																		
		入学者数	人	1,831	1,842																		
	その他の学期	入学定員	人	***	***																		
		入学者数	人	***	***																		
	入学者合計	入学定員(A)	人	1,720	1,720																		
		入学者数(B)	人	1,831	1,842																		
		入学定員充足率 (B/A)	倍	1.06	1.07																		
	収容定員等	収容定員(C)	人	6,880	6,880																		
		編入学定員	人	255	255																		
		在籍者数(D)	人	7,380	7,592																		
		編入学者数	人	244	199																		
		収容定員充足率 (D/C)	倍	1.07	1.10																		

4.外部資金の状況（全学）

年度			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度
改組状況			選定-5年	選定-4年	選定-3年	選定-2年	選定-1年	選定													
項目	単位																				
外部資金獲得額	千円		620,074	422,411	316,190	317,050	321,467	299,242													

項目	単位	
申請時点の外部資金獲得額平均 (過去5年間に於ける各年度の外部資金獲得額のうち最大額及び最小額を除いた残り3年分の平均) (E)	千円	353,643
本事業による助成金の額(F)	千円	1,194,015
フェーズ3の助成期間終了時までに達成する額(E+F×2.5%)	千円	383,493

特記事項

--